



8 本時の展開

A 達成度 B 学習速度 C 取り組み方法(学習の仕方)  
D 見方・考え方 E 興味・関心 F 生活経験

段階	過程	時間	学習活動	評価の視点・方法	指導上の留意点	学習形態・教材・教具等
導入	課題の意識	10分	1 前時の学習を想起し、スピーチを行うまでの手順と集めた題材を確認する。		1 スピーチの会を開く時の流れを確認し、更に集めた話題を発表させ、その人ごとに「新鮮」と感じる視点が様々あることに気づかせる。	一斉 学習シート
			2 学習課題を把握する。		2 聞き手にわかりやすいスピーチを行うためには、構成を工夫する必要があることから、どのような点に留意すべきかというポイントをとらえさせ、それを基にスピーチメモを各々考えさせていきたい。	学習シート
展開	課題の具	37分	3 スピーチの例文をもとに、スピーチの構成のポイントをつかむ。	3 [話す・聞く]  二つのスピーチの例文を比較しながら、言いたいことを効果的に伝える構成の仕方のポイントが指摘できたか。  <発表内容> A：話題、結論が最初、具体例、違いの明確化 C：ポイントを見つけさせる観点を与え、気づかせるようにする。	3 二つのスピーチの例文(わかりやすいスピーチ例とわかりにくい例)を比較させ、言いたいことを効果的に伝える構成のポイントを挙げさせる。  <D> ポイントを見つけさせる観点として次の項目に目をつけさせる。 ・ 話題の数 ・ 組み立て ・ 話の内容  ・ 話題を絞る。 ・ 出だし・展開・結びの構成を意識する。 ・ 具体例をあげ、違いを明確化する。	一斉 資料
			4 スピーチメモを作成する。	4 [関心・意欲・態度]  進んでスピーチメモを作成しようとしているか。  <記述内容> A：ポイントを踏まえ、出だしと結びを工夫して意欲的にスピーチメモを作成している。 C：例を見本としながら自分の選んだ話題についてスピーチメモを書かせる。	4 例文のスピーチメモを例として示したい。3でつかんだ構成のポイントをよりどころにして、自分のスピーチメモを作成させる。 <E>	個 学習シート
終末	課題の一般化	8分	5 スピーチメモを発表する。		5 次時の推敲の参考となるようなメモを紹介させる。 <A>	個
			6 自己評価を行う。	6 [話す・聞く]  構成のポイントに則りながら、自分のスピーチメモを作成できたか。  <挙手状況>	6 挙手により、構成のポイントをふまえてスピーチメモを作成することができたかどうかを捉える。 <A>	
			7 次時の見通しを持つ。		7 次時には、本時に作成したスピーチメモを推敲し、実際にスピーチの練習を行うことを予告する。	